

令和8年度 さいたま市立日進北小学校第2回学校運営協議会議事録

- ・ 日 時 令和8年9月18日（金） 11：30～14：45
- ・ 会 場 日進北小学校 学校地域連携コーディネーター室
- ・ 出席者 川崎委員、森田委員、江副委員、田中委員、田中委員、杉山委員、岩崎委員、荒井委員、秋山委員、寺越校長、松本教頭、楫野学校地域連携コーディネーター
- ・ 次 第（進行：楫野）
 - 開会 11:30
 - 授業参観 11:35～12:20～「目指す児童像」を視点1～3を参考に
 - ① 進んで学び、問い続ける子
視点1…自己決定と実行・振り返りと修正のスパイラル・試行錯誤・探求的な学びの推進 等
 - ② 人や社会とつながり、自分からあいさつのできる子
視点2…傾聴の姿勢・「聞く」「話す」のメリハリ・リアクションや相槌・言葉環境 等
 - ③ 自律（立）心をもって行動し、意欲的にチャレンジできる子
視点3…自他尊重の態度と共感的理解・自己内省の姿勢・「なぜ？」を大切にしたい学習・熱意等
 - 給食試食 12:30～13:10（1年生の各教室にて）
 - 児童との懇談 13:15～13:35（児童会から8名参加）
 - ① 児童会の活動報告
 - ② 「ストップいじめ！サミット」参加報告
 - ③ 質疑応答
 - ・ いじめの相談を受けたら
 - ・ 児童会オリジナルポスターについて
 - ・ 自発的な活動とチームワークについて 他多数
 - 協議
 - (1) 委員長あいさつ
 - (2) 校長あいさつ
 - (3) 第1回議事録の確認（教頭より）
 - (4) これまでの教育活動報告（教頭より）
 - ・ SSN 協議会報告
 - ・ 学校安全ネットワーク連絡会報告
 - ・ 民生委員・児童委員連絡会報告

(5) 熟議

テーマ「チャレンジングマインドを支えるコミュニケーション力の育成」

―学校運営及び教育活動の中間報告に基づく熟議―

参観を通して見られた子ども達の姿から

―目指す児童像に迫るための提言―

○小グループ → 全体

- ・参観を通して、タブレットや生成A I等を使った学習が見られた。教師の教材準備等の負担軽減のために、行政からデジタル素材の提供があるとよい。
- ・タブレットのドリル学習は、間違えても答えを選びなおせばすぐにやり直しができる。本当に理解しているのか。小テストなどで定着を図っていくとよい。ミニ先生として算数が得意な子を生かすのはどうか。
- ・自分のことを好きになってほしい。自分の苦手なこと、できないことにはすぐに気づく。一方で、できることや自信のあることを自分で見つけるのは難しい。学び合うことで有用感を高め、自信をつけることで、新たなチャレンジにつながるのではないか。
- ・チャレンジングマインドを育むためにも学び合いの充実を期待している。
- ・I Tの活用はめまぐるしい。学校は大きく変わっていることを実感した。今後、教師の役割はどうなってしまうのか、考えさせられた。
- ・授業参観をする中で、一斉指導をする場面はほとんどなかった。自分で考えることの積み重ねが、チャレンジングマインドにつながっている。
- ・コミュニケーションについては、しゃべるのが得意な子もいれば、苦手な子もいる。個人差があるので、得意な子が積極的に関わっていくことで、苦手な子のフォローになればよい。

(6) 意見の申出～学校運営全般について（各委員より）

- ・子ども同士の学び合いを通して、足りないところを補い合うことが生きる力になる。これは社会教育にもつながる。A Iに頼りすぎず、委ねず、直接体験も大切にしていってほしい。
⇒学び合いは学校課題研究のテーマでもある。小学校で学び方を身につけ、中・高と専門性をつけていきたい。
- ・世の中のI T化が進む中で、I Tリテラシーを身につけるには今しかない。

○ その他

- ・S o l a るーむボランティア募集について
- ・公民館イベントについて

○ 閉会

○ 次回開催予定

- ・第3回学校運営協議会・第2回いじめ防止対策委員会
令和9年2月12日（金）11時30分開会

以上